

保護者の皆様へ

認定こども園札幌若葉幼稚園 園長

令和7年度 札幌若葉幼稚園の自己評価について

「学校教育法施行規則」において、各学校が、自らの教育活動その他の学校運営等について、目指すべき目標を設定し、教職員が、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を自己評価し、その結果を公表することが義務付けられています。

本園においても教職員による自己評価を実施しましたので、その結果をまとめ下記のとおり報告いたします。

記

1 本年度の重点目標と達成状況

- ① 教職員一人一人が、自らの職責を自覚し、持てる力を発揮し合い、相互理解と相互信頼のうえに立って協力し、教育の質を高める。

※目標は達成できた。各教諭が担当職責を遂行するとともに、相互に刺激し合いながら教育内容の質の向上、発展につとめた。

- ② 保護者に対し適正な情報を伝えるとともに保護者のニーズ把握に努める。

※目標は達成できた。

- ・ホームページ、ハグノート（連絡アプリ）、園だより、クラスだより、および、学年別カリキュラム等でタイムリーな情報を保護者に伝えた。

また、ハグノートの契約変更により、保護者からの欠席連絡がハグノート（連絡アプリ）からできるようになったので、保護者の負担が軽減された。

- ・認定こども園移行に伴いホームページを変更した。

- ③ 園舎等の環境整備

教育環境を改善するため、経年劣化等に伴う園舎などの修繕を実施する。

※目標は達成できた。次の環境整備工事等を実施しました。

- ・園舎 舞台幕 ワイヤー 交換
- ・電子ピアノ 2台 修繕
- ・スポットクーラー 10台 新規導入
- ・スポットクーラー導入に伴う電源工事
- ・扇風機 7台 新規導入
- ・ベランダ ウッドデッキ 修繕
- ・グラウンド 危険樹木 伐採
- ・園舎 消火器 6本 取替

- ・小型バス 冬タイヤ 取替
- ・灯油ボイラー 修繕
- ・園舎 網戸 5枚 張替
- ・園舎 煙感知器 1個 取替
- ・キッズランド カラスの巣 駆除
- ・キッズランド 菜園用電気柵 取替

④ 車両・教材・教具等の環境整備

教育内容の向上をはかるため、車両・教材・教具の新規導入および経年劣化による更改を実施する。

※目標は達成できた。次のとおり教材・教具の新規導入、更改を行った。

新規導入

- ・絵本173冊、図鑑9冊、紙芝居13組
- ・絵本棚 1台

経年劣化による更改

- ・パオパオバルーン 3セット 入替
- ・保育畳（満3歳・年少用） 12枚 入替
- ・職員用 デスクトップパソコン 2台 入替
- ・職員用 ノートパソコン 5台 入替
- ・1層式洗濯機
- ・掃除機 1台
- ・餅付き用 きね 1本

2 評価項目の達成・取組状況

A：達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

評価項目	達成状況	反省・課題等
園の教育理念・ 教育目標の理解	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の目指すべき姿を考え日々の保育をするようにしている。 ・教育理念や目標を全体で振り返り、意識した上で保育を進めている。
指導計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの様子を見ながら日案を柔軟に変え、落ち着いた雰囲気 で保育を進められるように意識した。 ・子供の様子に合わせて活動内容を考えているが、計画を期間内に終え る事を優先するあまり詰め込み過ぎてしまう事があった。
環境の構成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃を通して、安全で清潔な環境を保つようにしている。 ・作ったものはすぐに飾り、完成を喜べるようにしている。 ・子供たちが安全に過ごせる環境構成を考えた。しかし安全性を守る 為に、子供の遊びの広がりや妨げてしまう場面もあり、難しさを感じ る事があった。子供の遊びや広がりや安全性を両立できるような 工夫を考えていきたい。
幼児理解	B	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の発達段階を理解し、それぞれの思いに寄り添った関わり を心がけた。決めつけや思い込みで話を聞かないようにしている。 ・1人1人を十分に深く捉えきれない時もあるので、他の保育者や 保護者の意見も聞きながら多面的に幼児理解をしていきたい。 ・子供の言葉に耳を傾け安心して過ごせるようにしている。
指導とかかわり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての在り方を考え、約束事を守る、正しい言葉を使う等の 意識を忘れないようにしている。 ・小さな成長も言葉にしたり、スキンシップを取りながら一緒に喜ぶ ようにしている。 ・頑張りをおおいに褒め、自信が持てるように関わっている。
保育者同士の協力・ 連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での出来事を共有し、園全体で見守っている。 ・他のクラスでの取り組みを聞いて、自分のクラスの保育に活かせる ようにしている。 ・配慮が必要な子との関りがわからないことがあった。
保育の楽しみ・喜び	A	<ul style="list-style-type: none"> ・出来なかったことが出来るようになる喜びを沢山感じる事ができた。 ・子供の小さな成長や、ふとした言動を近くで見守ることが出来る事 に楽しさややりがいを感じている。 ・純粋な気持ちで子供たちに関われるようになった。
情報の発信と受信	A	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡アプリを有効に使い、保育の出来事をわかりやすく伝えられた。 ・直接話すことを基本とし、バス通園で難しい場合は電話で伝えている。 ・クラスだよりで全体の様子をつたえてる。

以上